



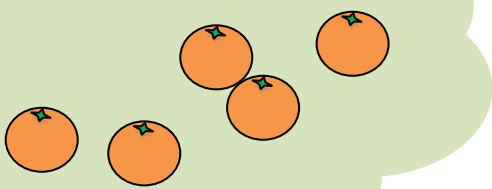
蒲郡市第8期高齢者福祉計画

平成30年度～平成32年度
(2018年) (2020年)



平成30年3月

蒲郡市



1 計画の背景

今後、国では少子化との並行による高齢者割合の上昇や、高齢者のみで構成された世帯数の増加など、我が国における高齢化の問題はますます深刻になっていくことが予想されます。そのような中、平成28年度に「我が事・丸ごと地域共生社会実現本部」を設置し、「支え手側」「受け手側」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティの育成の実現のため、地域包括ケアの概念のもと、分野横断的な取り組みを進めていく方向性を示しています。

以上のような動向を踏まえ、本市の高齢化への対策及び地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進することを目的に「蒲郡市高齢者福祉計画（以下、本計画という）」を策定します。

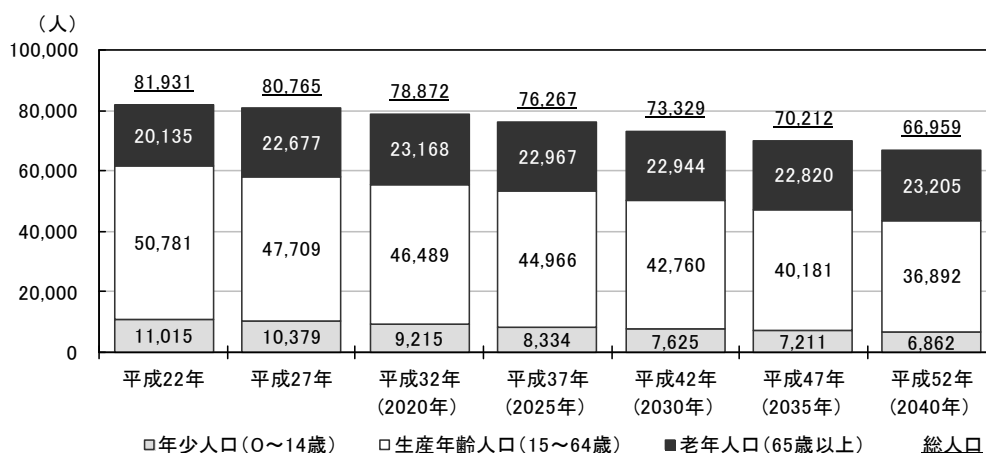
2 計画の期間

年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32 (2020年)	H33 (2021年)	H34 (2022年)	H35 (2023年)
蒲郡市第8期 高齢者福祉計画	前回計画								
				本計画					
							次期計画		

3 高齢者を取りまく現状と課題

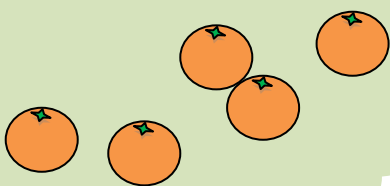
国立社会保障・人口問題研究所における本市の推計人口では、人口減少とともに高齢化が進行することが予測されています。また、支え手となる生産年齢人口割合も減少していくことが予測されます。

■年齢3区分別人口の推計



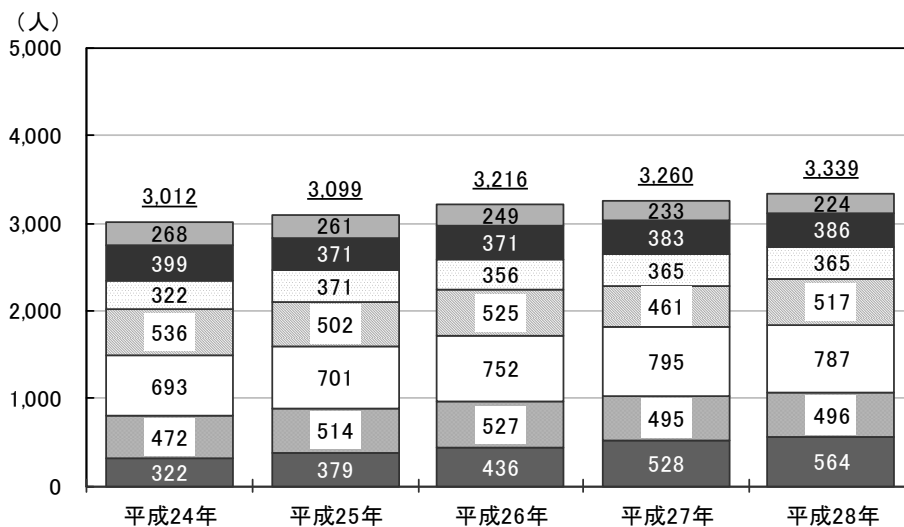
資料：(平成27年まで) 国勢調査

(平成32年以降) 国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」



要支援・要介護認定者数は平成28年で3,339人となっており、増加傾向にあります。また、要介護度別構成比は要支援1で増加割合が大きくなっています。

■要介護認定者数の推移



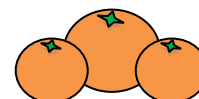
■要支援1 □要支援2 □要介護1 □要介護2 □要介護3 ■要介護4 □要介護5 計

資料：蒲郡市の被保険者数及び要介護認定者数等の現状（各年度3月末）

4 計画の基本理念

人も自然も健康で、しあわせなまち

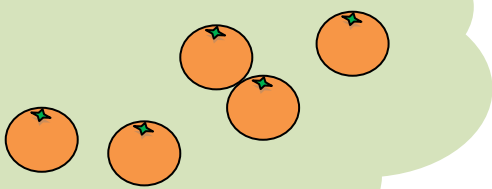
オレンジライフの創造



5 将来像

- ◆ 住み慣れた地域での生活を継続できるまち
- ◆ 健康づくり・介護予防に取り組めるまち
- ◆ 多様なニーズに対応する、安心できるまち
- ◆ 高齢者と家族が大切にされ、尊重されるまち
- ◆ 高齢者が社会に参加し、生きがいを持って暮らせるまち





6 本市の目指す高齢者福祉の考え方

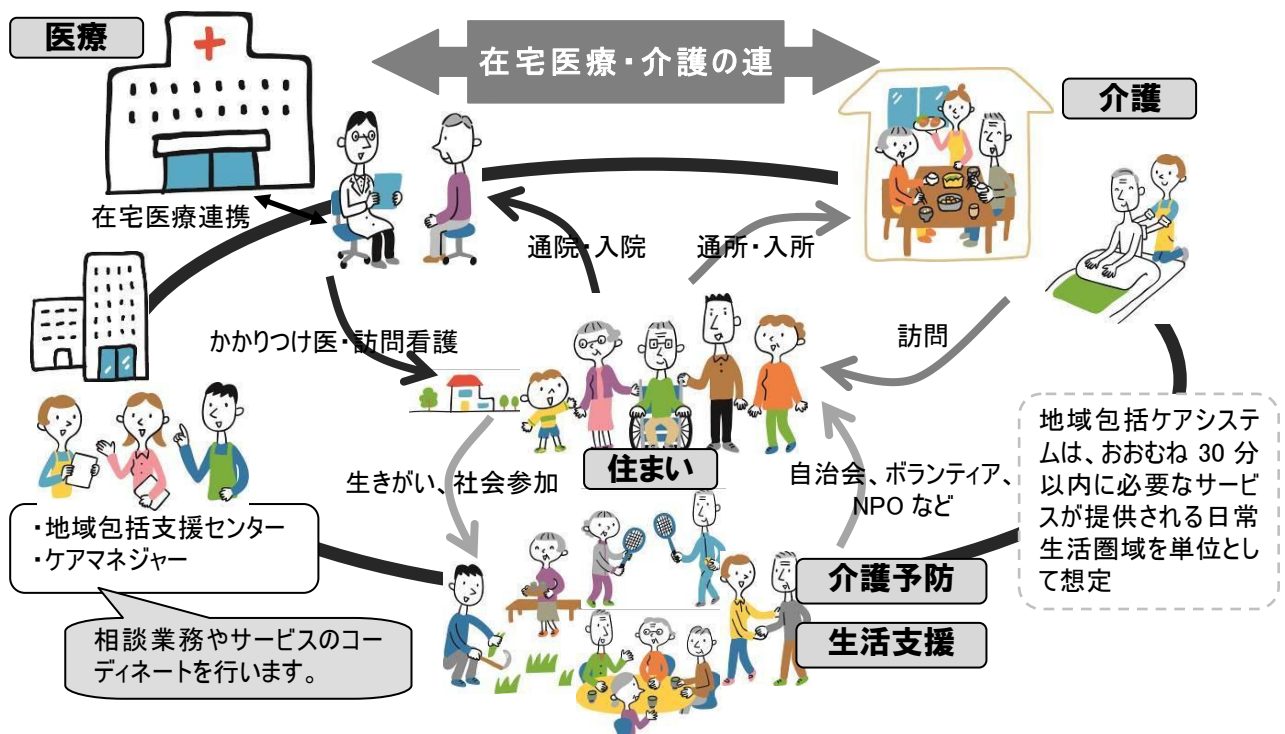
本市では、高齢者福祉の推進に地域包括ケアの考え方を取り入れ、基本理念の実現を目指していきます。

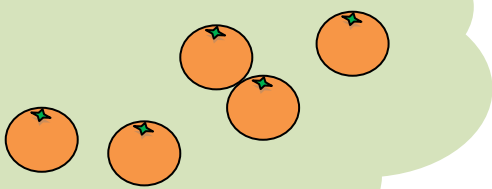
地域包括ケアとは

地域包括ケアシステムとは、地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、**医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制のこと**です。

本計画においては、2025年（平成37年）を見据えた計画として、**地域包括ケアの仕組みの構築に留まらず、それを具体的に動かしていくための担い手の拡大と役割分担の明確化が必要となります。**財政的な制約も踏まえると、地域包括ケアシステムに含まれる機能の多くを、行政を中心とした公的サービスや単一の主体だけで担うことは困難です。住み慣れた地域で生活を送る高齢者の多様な生活ニーズに応えられる仕組みをつくるためには、自分のことは極力自分でする覚悟を自覚する「自助」を基本としながら、社会保険制度や介護保険制度等の「共助」や行政による支援等の「公助」に頼るだけでなく、**多様な主体と市が協働しながら地域全体で支え合う「互助」の体制をつくっていくことが重要**です。

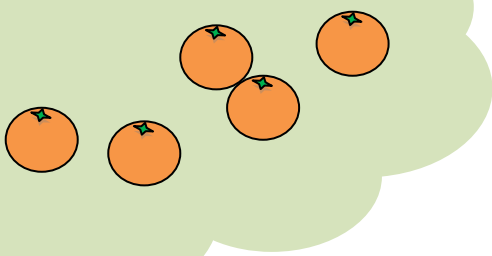
■2025年の地域包括ケアシステムの姿





7 計画の施策体系及び事業一覧

基本理念	地域包括ケアにおける目標(基本施策)	推進施策
<p>人も自然も健康で、しあわせなまち オレンジライフの創造</p>	<p>目標1 高齢になってもできる限り、自分のことが自分で行える心身を保てる (介護予防の推進)</p>	<p>(1) 心身機能の維持 (2) 健康管理と健康づくり</p>
	<p>目標2 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができる (生活支援体制整備の推進)</p>	<p>(1) 生きがいづくりの支援 (2) 生活支援の様々な取り組み (3) 支え合いの地域づくり</p>
	<p>目標3 介護や医療が必要な状態になっても自分が希望する場所で適切な医療・介護を受け生活が継続できる (在宅医療・介護連携の推進)</p>	<p>(1) 安心して在宅医療を選択できる体制づくり (2) 切れ目のない在宅医療・介護の一体的な提供体制の構築 (3) 再入院予防のための相談支援体制整備と自己管理支援</p>
	<p>目標4 認知症になっても安心して自分らしく生活できる (認知症地域支援施策の推進)</p>	<p>(1) 認知症になっても自分らしく暮らせる地域づくり (2) 認知症の早期発見と受診支援 (3) 認知症の人と家族の不安軽減のための支援 (4) 認知症の人の生活上の安全確保</p>
<p>施設サービス(介護保険以外)</p>		



8 地域包括ケア推進のための保健・福祉サービス

目標1 介護予防の推進

平成29年4月から開始した「介護予防・日常生活支援総合事業」等により、心身機能の低下が心配される方の機能向上を支援するとともに、地区集会所等で介護予防事業や住民の支え合いによる介護予防活動を支援し、身近な場所で介護予防に取り組める体制づくりに努めます。

さらに、健康の自己管理ができるよう、健康診断等の実施や健康教室・健康相談等を通じて、健康に関する知識の啓発や健康管理に役立つ情報の提供に努めます。

■評価指標

No.	指標名	現状値 (H28年度)	目標値 (H32年度)
1	第1号被保険者の要介護認定率	14.2%	14.5%を下回る
2	いこいの場マップ掲載団体数 (運動グループのみ)	77	90
3	介護予防教室における体力測定結果 (維持・向上の割合)	63.6%	75.0%を上回る
4	第1号被保険者に占める認知症高齢者の割合	9.7%	11.0%を下回る
5	特定健診の受診率 (65~74歳)	45.5%	50%
6	特定保健指導 (65~74歳)	14.3%	24%
7	後期高齢者健診の受診率	26.8%	32.6%を上回る

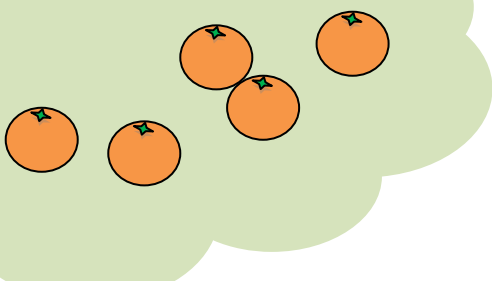
推進施策

- 1 心身機能の維持 2 健康管理と健康づくり

目標2 生活支援体制整備の推進

多種多様な主体による幅広い生活支援サービスや居場所づくりなどの充実を目指す必要があります。

また第1層・第2層において生活支援コーディネーターを配置することにより、地域での生活支援体制の構築支援を推進するとともに、地域での情報共有、連携強化を図るため地域ごとに協議体を設置します。生活支援コーディネーターと協議体が連携し、住みなれた地域でお互い様の地域づくりを推進し、支えあいの輪が広がる取り組みを推進します。



■評価指標

No.	指標名	現状値 (H28 年度)	目標値 (H32 年度)
1	介護支援ボランティア(まごころ DE ちよいボラ) 活動延ポイント数	209 ポイント (H28.7 月事業開始)	1,000 ポイント
2	いきいきサロン活動助成数	14 グループ	30 グループ
3	友愛クラブ(老人クラブ) クラブ数・会員数	55 クラブ 3,244 人	55 クラブ 3,300 人
4	シルバー人材センター 就業会員数・一人あたりの就業日数	541 人 129 日	570 人 134 日
5	ワンコインお助けサービス 利用件数	196 件 (H28.7 月事業開始)	700 件
6	在宅福祉サービス「ふれあい蒲郡」 協力会員数/利用会員数 延利用回数/延活動時間数	41 人/83 人 3,465 回/ 5,047 時間	50 人/100 人 3,700 回/ 5,500 時間
7	地域活動への参加割合	49.7%	55.0%
8	手助けやボランティアをしているまたはしたい人の割合	26.7%	35.0%

※評価指標No.7、8 は高齢者等実態把握調査より

推進施策

- 1 生きがいつくりの支援 2 生活支援の様々な取り組み
3 支え合いの地域づくり

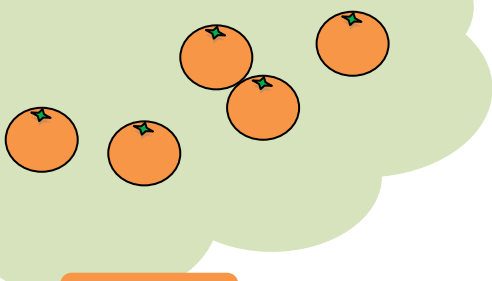
目標3 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする状態の方でも、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業者等の関係者の連携推進を図ります。

■評価指標

No.	指標名	現状値 (H28 年度)	目標値 (H32 年度)
1	在宅医療の認知度	39.8%	50%
2	在宅医療の実現が可能だと思ふ人の割合	17.4%	20%
3	東三河ほいっぶネットワーク蒲郡市の利用登録者数	179 件	350 件
4	在宅医療に関する相談調整件数	—	100 件
5	訪問看護(介護保険事業分) 受給者延人数(年度累計)	延 951 人	延 1,200 人

※評価指標No.1、2は高齢者等実態把握調査より



推進施策

- 1 安心して在宅医療を選択できる体制づくり
- 2 切れ目ない在宅医療・介護の一体的な提供体制の構築
- 3 再入院予防のための相談支援体制整備と自己管理支援

目標4 認知症地域支援施策の推進

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、認知症の容体の変化に応じた、医療・介護・生活支援等のサービスを提供することが必要です。このために、医療・介護・生活支援等の関係機関が有機的に連携しネットワークを形成するとともに、認知症の人とその家族に対して効果的な支援が行える体制の構築を図ります。

■評価指標

No.	指標名	現状値 (H28 年度)	目標値 (H32 年度)
1	認知症サポーター養成者数 年間延人数・累積数	863 人 4,855 人	1,500 人 10,000 人
2	認知症家族介護交流会参加者数 年間延人数	189 人	200 人
3	認知症初期集中支援チーム支援者数	—	40 事例 (3年累計)
4	認知症簡易チェックサイト延利用者数	6,635 件	8,000 件

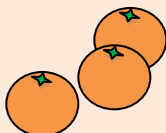
推進施策

- 1 認知症になっても自分らしく暮らせる地域づくり
- 2 認知症の早期発見と受診支援
- 3 認知症の人と家族の不安軽減のための支援
- 4 認知症の人の生活上の安全確保

施設サービス(介護保険以外)

利用を希望している方が安心して利用することができるようニーズに応じた適切な整備を推進します。

蒲郡市第8期高齢者福祉計画
平成30年(2018年)度～平成32年(2020年)度
【概要版】



発行年月 平成30年3月
発行 蒲郡市
〒443-8601 愛知県蒲郡市旭町17-1
電話 (0533) 66-1111 代表
編集 市民福祉部 長寿課
(0533) 66-1105
(0533) 66-1176
E-mail choju@city.gamagori.lg.jp